

被徵用者ニ非ザレバ前項ノ規定ニ依ル徽章ヲ裝著スルコトヲ得ズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 一 本圖ハ實物ノ大サヲ示ス
- 一 地及色 布地國防色
- 一 楯 黒色
- 一 楯縁 金色又ハ黃色
- 一 櫻花 金色又ハ黃色
- 一 鉦 銀色又ハ紅海老茶色
- 一 鉦縁 銀色又ハ雀茶色
- 一 旭光 紅色及白色

船員職業能力申告令中改正の件公布

船員職業能力申告令中改正の件は、昭和十八年九月八日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員職業能力申告令中改正ノ件

(昭和十八年九月七日勅令第七百二號)

- 第二條 本令ニ於テ船員トハ左ニ掲グル者ヲ謂フ
- 一 船員法第一條(朝鮮船員令及關東州船員令ニ於テ依ル場合ヲ含ム)ニ規定スル船員
- 二 小形船舶乗組員手帳法第一條第一項ニ規定スル船員
- 三 海技免狀ヲ有スル者
- 四 遞信大臣ノ指定スル船員養成施設ニ於テ其ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ修了後三年ヲ經過セザルモノ及該期間内ニ第一號又ハ第二號ノ船員トシテ船舶ニ乗組ミ最後ノ雇止ノ公認若ハ下船ノ證明後又ハ最後ノ雇止契約終了ノ證明若ハ乗組員廢業ノ

彙 彙

證明後三年ヲ經過セザルモノ

五 第一號又ハ第二號ノ船員トシテ一年以上船舶ニ乗組ミタル者ニシテ最後ノ雇止ノ公認若ハ下船ノ證明後三年又ハ最後ノ雇止契約終了ノ證明若ハ乗組員廢業ノ證明後二年ヲ經過セザルモノ

第四條第一項及第二項中「船員手帳」ノ下ニ「又ハ小形船舶乗組員手帳」ヲ加フ

第五條中「船員法第一條ニ規定スル船員ハ」ヲ「第二條第一號及第二號ノ船員ハ」ニ、「船員法第一條ニ規定スル船員」ヲ「同條第一號及第二號ノ船員」ニ改ム

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

昭和十四年一月三十日勅令第二十三號船員職業能力申告令抄録

第二條 本令ニ於テ船員トハ左ニ掲グル者ヲ謂フ

(左記略ス)

第四條第一項

船員ハ左ニ掲グル事項ヲ居住地ヲ管轄スル管海官廳ニ申告スベシ

八 船員手帳ヲ有スルトキハ其ノ管海官廳略號及番號

第五條 船員法第一條ニ規定スル船員ハ本令ニ依リ申告ヲ爲スコトヲ要セズ但シ遞信大臣必要アリト認ムルトキハ船員法第一條ニ規定スル船員ノ全部又ハ一部ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ニ掲グル事項ノ一部ヲ申告セシムルコトヲ得

船員職業能力申告令施行規則中改正の件公布

船員職業能力申告令施行規則中改正の件は、昭和十八年九月八日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員職業能力申告令施行規則中改正ノ件

(昭和十八年九月八日 遞信省令第七百二十四號)

第四條中「船員法第一條ニ規定スル船員」ヲ「同令第二條第一號及第二號ノ船員」ニ改ム

第六條及第七條中「第三號」ヲ「第四號」ニ改ム

第八條中「船長ノ退職認證ノ申請又ハ海員ノ雇止公認ノ申請」ヲ「退職ノ認證ノ申請、雇止ノ公認ノ申請、下船ノ證明ノ申請、雇止契約終了ノ證明ノ申請又ハ乗組員廢業ノ證明ノ申請」ニ改ム

第九條中「第二號乃至第四號」ヲ「第三號乃至第五號」ニ、「船員法第一條ニ規定スル船員」ヲ「同條第一號及第二號ノ船員」ニ改ム

第十條第四號中「船員法第一條ニ規定スル船員」ヲ「申告令第二條第一號又ハ第二號ノ船員」ニ改ム

第十一條 削除

第一號書式中 (六)船員手帳交付管海官廳名略號及番號 第 號

(六)船員手帳又ハ小形船舶乘組員手帳交付管海官廳名略號及番號	船員手帳	第 號
	小形船舶乘組員手帳	第 號

ニ改メ同書式記載心得(函)中「海技免狀を有し船員法第一條に規定する船員以外の者として船舶に乗組中のものは本欄に記載するを要しないこと」ヲ削リ(大)左ノ如ク改ム

(大)乘船履歴

海技免狀を有し申告令第二條第一號の船員であつた者で下船後三年以上を經過したものは最後に乗組んでゐた船舶に付記載すること

其の他の船員は本欄に記載するを要しないこと